

「東海村と原子力の将来像～“原子力センター構想（仮称）”～（第1次案）」に対する 意見公募の結果について

1. 公募期間 平成24年7月25日（水）～ 8月27日（月）
2. 対象者 東海村民等・・・村内に住所を有する者、村内に事務所又は事業所を有する者、村内の事務所又は事業所に勤務する者、意見公募手続きに係る施策等に利害関係を有する者（「原子力所在地域首長懇談会」を構成する周辺市の住民）等
3. 周知方法 村ホームページ、「広報とうかい」にて周知した他、村政懇談会でも実施予告
※構想案の公表場所・・・各コミュニティセンター、中央公民館、図書館、村ホームページ、村役場
4. 御意見の提出方法 持参・郵送・ファクシミリ・電子メールのいずれか
5. 御意見を頂いた方 18名（このほかに対象者以外の方4名）
6. 構想案に関する全体的な御意見
 - 「現状案のとおり進めてよい」、「一部修正は必要だが、概ね現状案のとおりでよい」、「大幅な修正が必要である」、「そもそも、このような構想は進めるべきでない」の四択で御意見を伺った。
 - その結果、「現状案のとおり進めてよい」とした方が1名、「一部修正は必要だが概ね現状案のとおりでよい」とした方が9名、「大幅な修正が必要である」とした方が8名（別紙のNo.が斜体となっている方）であった。
※ 「大幅な修正が必要」とした方について、その理由を「具体的な御意見」を踏まえて推測すると、主として以下のとおりと考えられる。
 - ・ 東海村原子力施設への安全対応に関する記述がない
 - ・ 原子力に特化すべきでなく、エネルギーの多角的な開発のセンターと位置付けるべき
 - ・ 理念は良いが実現性があるのか、一般村民との関わりが不明、経済性が軽視されている
 - ・ 内容が平易でなく理解できない
 - ・ 福島原発事故による放射能汚染への対応を最優先に対応すべき

- ・ 東海第二発電所の再稼動を認めないことを明記すべき
- ・ 原子力科学研究の村を目指す構想であることを明記すべき
- ・ 過酷事故対策，使用済燃料の取扱い，廃炉・廃止措置や放射性廃棄物の処理処分を最優先し先導する構想とすべき

7. 構想の名称に関する御意見

- 「「原子力センター構想」のままでよい」、「名称を変更すべき」の2択で御意見を伺い、併せて、後者の方には名称変更案も伺った。
- その結果、「原子力センター構想」のままでよいとした方が4名だった一方、以下のような名称変更案に関する御意見（複数回答あり）があった。
 - ・ 「東海村の原子力発展構想」
 - ・ 「サイエンス」を入れた方が良い
 - ・ 「原子力安全研究都市構想」
 - ・ 「原子力基礎・基盤・安全研究都市構想」
 - ・ 「原子力“東海村”」
 - ・ 「エネルギーセンター構想」
 - ・ 「原子力関連技術開発包括センター」
 - ・ 「量子科学センター構想」
 - ・ 「東海村と原子力との関り」
 - ・ 「東海村国際原子力文化センター」
 - ・ 「東海村原子力タウン構想」
 - ・ 「原子力・加速器連携センター構想」
 - ・ 「原子力・加速器科学の連携構想」
 - ・ 「原子力・加速器施設と田園が共存する都市構想」
 - ・ 「原子力科学研究の村構想」
 - ・ 村長が敬愛する欧州の古き大学を中心とした街を彼の地では如何様に呼称されているのでしょうか？

8. 構想案に関する具体的な御意見

- 別紙（左欄）のとおりであり、これらに対する回答を別紙（右欄）に記載する。（本文等を修正するものには下線）